

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成 28 年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
現地観測および水路実験の比較検証に基づく土砂生産域における土石流評価手法の開発 (研究期間：H28 年度～H30 年度)	東京大学 准教授 堀田紀文	A
<p><研究概要></p> <p>本研究では、大谷崩において土石流観測と高精細な地形測量を実施し、その解析結果から、土石流の発生・流下・堆積がそれぞれ地形条件の影響を強く受けて生じていることを明らかにした。また、土石流の材料特性の影響を検証するための水路実験を実施したうえで、微細土砂の液相化に着目してモデル化した。得られたモデルを数値計算に組み込むことで、幅広い粒度分布からなる土石流の再現計算の精度が向上することを示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、土石流の発生と堆積等について、現地観測・水路実験・モデル化を進めることができおり、総合土砂管理や土石流対策施設の設計等への活用が期待できる。</p> <p>今後は現地観測による土石流流動の特徴を取り込んだモデルの検証や、砂防区間から河川区間への連続的な土砂移動の評価等につながるよう検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い